



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 森下仁丹 株式会社
 コード番号 4524 URL <http://www.iintan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 駒村 純一
 (氏名) 森田 真司

TEL 06-6761-1131

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	8,054	3.7	349	132.0	360	124.8	275	95.5
28年3月期第3四半期	7,768	7.9	150	—	160	—	140	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 245百万円 (△46.7%) 28年3月期第3四半期 460百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	13.53	—
28年3月期第3四半期	6.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,282	9,227	69.5
28年3月期	13,668	9,134	66.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 9,227百万円 28年3月期 9,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	5.4	450	14.9	450	10.2	300	△20.2	14.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	20,750,000 株	28年3月期	20,750,000 株
29年3月期3Q	409,871 株	28年3月期	409,371 株
29年3月期3Q	20,340,582 株	28年3月期3Q	20,342,361 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は当月6日に終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかに回復しております。設備投資は既往の円高や新興国の減速による企業収益の悪化を受けて、回復ペースは鈍化しておりますが、原油価格下落に伴う輸入の減少を主因として黒字幅が拡大傾向にあるなど、景気は一部に改善の遅れも見られるものの、緩やかな回復基調が続いており、個人消費は持ち直しつつあります。また名目賃金は伸び悩みが続いておりますが、雇用者数の増加、物価上昇率の低下によって実質雇用者所得が高い伸びとなり、消費を取り巻く環境は改善しております。

当社グループの属する業界も、健康意識の高まりが持続し、平成27年4月より食品の新たな機能性表示制度が始まる等大きな変革期を迎えました。但し、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競争激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして平成27年6月からの機能性表示食品「ヘルスエイド シリーズ」の新発売など積極的な諸施策・諸活動を展開しております。その結果、売上高は、8,054百万円と前年同四半期と比べ286百万円の増収となりました。

利益面においては、効果的なプロモーション活動及びコストダウン諸施策による原価率の低減により、売上総利益は、4,180百万円と前年同四半期と比べ130百万円の増益となりました。また経費の効率化等に努めた結果、営業利益は、349百万円と前年同四半期と比べ198百万円の増益となり、さらに営業外損益を加えた経常利益は、360百万円と前年同四半期と比べ200百万円の増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、275百万円と前年同四半期と比べ134百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、平成27年6月からの機能性表示食品の新発売などにより売上は好調に推移しており、その結果、ヘルスケア事業の売上高は、5,707百万円と前年同四半期と比べ188百万円の増収となりました。

損益面では、回転率の悪い商品を評価減するなど在庫の整理をしましたが、効果的なプロモーション活動等により、売上高が好調に推移する中、セグメント損失は、93百万円と前年同四半期と比べ154百万円の増益となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、医薬品カプセルやその他の受託は前年同期比で落ち込んだ一方、フレーバーカプセルは引き続き順調に推移しており、その結果、カプセル受託事業の売上高は、2,331百万円と前年同四半期と比べ93百万円の増収となりました。

損益面では、コストダウン諸施策による原価率の改善や効率的な研究開発投資に努めた結果、セグメント利益は、425百万円と前年同四半期と比べ43百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、13,282百万円と前連結会計年度末と比べ385百万円(2.8%)の減少となりました。総資産の内訳は、流動資産が4,884百万円と前連結会計年度末と比べ75百万円(1.6%)の増加となり、固定資産が8,397百万円と前連結会計年度末と比べ461百万円(5.2%)の減少となりました。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加によるもので、固定資産の減少の主な要因は、減価償却の進捗による固定資産の減少によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、4,055百万円と前連結会計年度末と比べ478百万円(10.5%)の減少となりました。負債の内訳は、流動負債が2,684百万円と前連結会計年度末と比べ256百万円(10.6%)の増加となり、固定負債が1,370百万円と前連結会計年度末と比べ734百万円(34.9%)の減少となりました。これは、長期借入金の約定返済による1年内返済予定額の増加により、固定負債から流動負債へ710百万円が移行した事が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、9,227百万円と前連結会計年度末と比べ92百万円(1.0%)の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,586	1,781
受取手形及び売掛金	1,323	1,476
商品及び製品	902	712
仕掛品	372	309
原材料及び貯蔵品	425	407
その他	210	209
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	4,809	4,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,153	2,030
機械装置及び運搬具（純額）	1,606	1,403
土地	2,217	2,217
建設仮勘定	7	13
その他（純額）	288	247
有形固定資産合計	6,274	5,913
無形固定資産	216	213
投資その他の資産		
投資有価証券	2,218	2,191
その他	149	78
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,367	2,270
固定資産合計	8,858	8,397
資産合計	13,668	13,282

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,130	992
1年内返済予定の長期借入金	330	792
未払法人税等	72	80
賞与引当金	167	79
返品調整引当金	58	64
売上割戻引当金	25	26
ポイント引当金	40	40
設備関係支払手形	56	39
その他	549	569
流動負債合計	2,428	2,684
固定負債		
長期借入金	867	157
繰延税金負債	734	687
退職給付に係る負債	501	524
その他	1	1
固定負債合計	2,105	1,370
負債合計	4,533	4,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	963
利益剰余金	4,000	4,123
自己株式	△137	△137
株主資本合計	8,364	8,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	765	735
退職給付に係る調整累計額	4	4
その他の包括利益累計額合計	770	740
純資産合計	9,134	9,227
負債純資産合計	13,668	13,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日至平成28年12月31日)
売上高	7,768	8,054
売上原価	3,718	3,874
売上総利益	4,050	4,180
販売費及び一般管理費	3,899	3,831
営業利益	150	349
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	22
その他	4	11
営業外収益合計	24	34
営業外費用		
支払利息	12	9
保険解約損	—	10
その他	2	4
営業外費用合計	14	23
経常利益	160	360
税金等調整前四半期純利益	160	360
法人税、住民税及び事業税	27	91
法人税等調整額	△7	△6
法人税等合計	19	85
四半期純利益	140	275
親会社株主に帰属する四半期純利益	140	275

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	140	275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	313	△29
退職給付に係る調整額	5	△0
その他の包括利益合計	319	△29
四半期包括利益	460	245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	460	245

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,518	2,238	7,757	11	7,768	-	7,768
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	206	206	△206	-
計	5,518	2,238	7,757	217	7,974	△206	7,768
セグメント利益又は損失(△)	△247	382	134	16	150	-	150

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,707	2,331	8,039	15	8,054	-	8,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	209	209	△209	-
計	5,707	2,331	8,039	224	8,264	△209	8,054
セグメント利益又は損失(△)	△93	425	331	17	349	-	349

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、一部の製品についてセグメント区分を変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。